

医療用品 04 整形用品
高度管理医療機器 歯科用インプラントアバットメント（70910000）

ザイブ MPアバットメント

再使用禁止

【禁忌・禁止】

<適用患者>

次の患者には使用しないこと。

- ・本品の成分及び類似成分に対して過敏症の既往歴のある患者
- ・インプラント埋入部位の骨質・骨量がインプラントを支持するのに不十分な患者。[オッセオインテグレーションが得られず、脱落等の恐れがある。]
- ・出血性素因を有する患者。[異常出血を起こす恐れがあり、手術部位の治癒が不良になる恐れがある。]
- ・コントロールされていない糖尿病患者。[手術部位の治癒不良及び易感染性が高まる恐れがある。]
- ・一般的な口腔外科手術が禁忌とされる患者。[侵襲により疾患の悪化、既往症の再発もしくは術後の手術部位の治癒が不良になる恐れがある。]
- ・骨の成長過程が完了していない患者。[顎骨形成不良の要因となる恐れがある。]
- ・悪性腫瘍等により放射線照射や化学療法を受けている患者。[手術部位の治癒が得られない恐れがある。]

<使用方法>

- ・再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

1. 本システムを構成する各製品の形状は以下の通り。

本添付文書に該当する製品の品名、品番、サイズ等については包装表示ラベルの記載を確認すること。

Xive MP アバットメント PS

品番	種類
3246 2951	D 3.8 /GH 1
3246 2952	D 3.8 /GH 2
3246 2953	D 3.8 /GH 3
3246 2955	D 3.8 /GH 5



Xive MP アバットメント アングル

品番	種類
3246 2932	D 3.4 /GH 2/15°
3246 2933	D 3.4 /GH 3/15°
3246 2935	D 3.4 /GH 5/15°
3246 2942	D 3.8-5.5 /GH 2/15°
3246 2943	D 3.8-5.5 /GH 3/15°
3246 2945	D 3.8-5.5 /GH 5/15°



3246 3032	D 3.4 /GH 2/30°
3246 3033	D 3.4 /GH 3/30°
3246 3042	D 3.8-5.5 /GH 2/30°
3246 3043	D 3.8-5.5 /GH 3/30°

MP インサートヘッド

品番
3246 3100



Xive MP リテンションスリーブ

品番	種類
3246 3130	D 3.4 ショート
3246 3140	D 3.8 ショート
3246 3150	D 4.5 ショート
3246 3160	D 5.5 ショート
3246 3230	D 3.4 ロング
3246 3240	D 3.8 ロング
3246 3250	D 4.5 ロング
3246 3260	D 5.5 ロング



Xive MP スクリュー ロング

品番
3246 4301



本品のアバットメントとインプラントとの組合せは以下のとおり。

アバットメント		インプラント	
本品		販売名「ザイブ」 (承認番号 21600BZY00356000)	
構成部品名	規格	構成部品名	規格
Xive MP アバットメント PS	D3.8	インプラント S	D3.8 D4.5
	D3.4	インプラント S	D3.4
Xive MP アバットメント アングル	D3.8-5.5	インプラント S	D3.8 D4.5 D5.5

2. 原材料：チタン合金、プラスチック

【使用目的又は効果】

本品は、歯科用インプラントフィクスチャに締結し、上部構造体の支台として使用する歯科用インプラントアバットメントである。

【使用方法等】

1. 術前診査
術前の口腔内の診査・診断を行い、治療計画を立案する。
2. インプラント埋入窩穿孔
ドリル（自社指定品）を使用し、インプラント埋入窩を形成する。
3. インプラント埋入
形成されたインプラント埋入窩にインプラントを埋入し、カバースクリューをインプラントに装着し、粘膜骨膜弁を戻し、縫合する。骨との固定が得られるまで、約3ヶ月の治癒期間とする。
4. テンポラリーコンポーネントの装着（二次手術）
 - 1) カバースクリューの取り外し
通法に従ってインプラント埋入部位の歯槽頂粘膜をメス等で切開する。インプラント体に装着されたカバースクリューを露出させ、これを取り外す。
 - 2) ジンジバルフォーマーの装着
使用するアバットメントに対応するジンジバルフォーマーを選択し、インプラントへ装着する。なお、ジンジバルフォーマー使用期間中は咬合負荷がかからないようにする。
5. アバットメントの締結
 - ① Xive MP アバットメント PS を用いる場合
通法に従い Xive MP アバットメント PS をインプラントに締結する。
 - ② Xive MP アバットメント アングルを用いる場合
アプリケーションデバイスに組込まれている Xive MP アバットメント アングルを HEX ドライバー 1.22 を用いて推奨締結トル

取扱説明書を必ずご参照下さい。

ク 24Ncm でインプラントに装着する。
アバットメントからアプリケーションデバイスを反時計回りに回して外し、180°回転させる。
アプリケーションデバイスの対側に接続されている MP インサートをアバットメント上面に設置し、アプリケーションデバイスを時計回りに手で回転させて締結し、アプリケーションデバイスを外す。
MP ドライバーを用いて推奨締結トルク 24Ncm で MP インサートを締結する。

6. 印象採得、上部構造体の作製

MP トランスファーコーピングを用いて印象採得する。
印象採得面内面にアナログを配置し作業用模型を作製する。
作業用模型上で通法に従い上部構造体を作製する。

7. 暫間上部構造体の作製

既存の義歯または新製義歯を暫間用として用いる場合、MP リテンションスリーブをアバットメント上に、加えて義歯を所定の位置に配置し、相互に干渉がないことを確認したのち、アクリリックレジン等の適切な材料を用い義歯内に固定する。

8. 上部構造体の装着

上部構造体（技工物）をスクリューを用いて推奨締結トルク 24Ncm で直接 MP アバットメントに連結する。

- ・感覚麻痺
- ・感染
- ・機能障害
- ・血腫、腫脹
- ・口腔粘膜損傷
- ・骨壊死
- ・骨欠損
- ・骨折
- ・審美障害
- ・脱落
- ・知覚異常、知覚過敏、知覚不全
- ・疼痛
- ・動揺
- ・破折
- ・破損
- ・浮腫
- ・咀嚼機能麻痺

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件：高温、多湿、直射日光をさけて、未開封のまま常温で保管すること。

本品は未滅菌のため、使用前に適切な洗浄、消毒、滅菌を行うこと。

方法	滅菌サイクル	温度	曝露時間※	乾燥時間
蒸気	プレバキューム	132℃（270°F）	4 分	20 分
		135℃（275°F）	3 分	20 分
	重力置換	121℃（250°F）	30 分	20 分

※最短曝露時間や動作時間は、機器によって異なる可能性がある。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

デンツプライシロナ株式会社

製造業者：

Sirona Dental Systems GmbH（ドイツ）

Dentsply IH AB（スウェーデン）

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- （1）設計においては、インプラント及びアバットメントへの負荷及び周辺組織への影響を十分に考慮し、本品の種類及びサイズを選択すること。
- （2）本品の装着には適切なインストルメントを用いること。
- （3）折損、変形などの原因になるため必要以上の力を加えないこと。
- （4）本品を装着する際は、インプラントの内面を十分洗浄すること。
- （5）術中は患者の全身のおよび口腔内の状態を監視し、異常が認められた場合は治療の中止等を含め、患者の安全を確保すること。
- （6）術後の定期的な診査を行い、必要に応じて適切な処置を講ずること。
- （7）Xive MP アバットメント PS 及び Xive MP アバットメント アングルは、原則として複数歯欠損症例には 2 本以上、無歯顎症例には 4 本以上用いること。

【使用上の注意】

【使用注意（次の患者には慎重に適用すること）】

- （1）咬合障害、パラファンクション（ブラキシズム等）を有する患者。
[インプラント体や補綴物の破損により外傷が生じ、再手術が必要になる恐れがある。]
- （2）周術期の喫煙者。[創傷の治癒が得られない恐れがある]
- （3）放射線治療の既往歴がある患者。[手術部位の治癒が得られない恐れがある]
- （4）長期間に及ぶステロイド療法実施患者あるいは抗凝固薬、抗血小板薬を使用している患者。[手術部位、周囲組織、又は患者の治癒機能に影響する場合がある。]
- （5）免疫抑制薬を使用している患者。[手術部位の治癒及び予後に影響する場合がある。]
- （6）治療に非協力的な患者、口腔衛生管理・術後管理ができない患者
[術後のケアが困難になる恐れがある。]

【重要な基本的注意】

- （1）インプラント治療を行う際には、「口腔インプラント治療指針」（公益社団法人日本口腔インプラント学会編）等の最新情報を参考に行うこと。
- （2）本品の MRI 検査に伴う影響は確認されていない。

【相互作用】（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

＜併用注意＞

- （1）電気メス・高周波メス等は手術時にインプラント体に接触しないように注意すること [意図しない発熱やスパークが発生する恐れがある]

【不具合・有害事象】

- ・アレルギー
- ・オッセオインテグレーションの喪失
- ・オッセオインテグレーション不良

取扱説明書を必ずご参照下さい。